

5月号

香春町協力隊だより



▲無事に撮影を終え、演者の皆さんと記念撮影

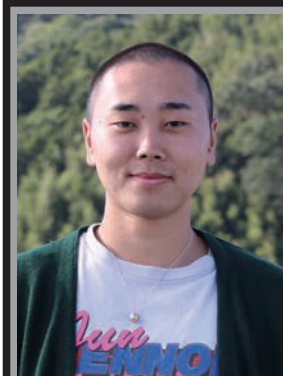
4月4日20時の放送で、ご覧になった人も多いかもしれませんが、TVQの人気番組「ちよつと福岡行ってきました」が香春町にやってきました！サイコロを振って行き先を決める番組なので、突然の来訪にびっくりしました。来てくださったのは、「コント赤信号」リーダーの渡辺正行さんと、「渡る世間は鬼ばかり」でおなじみの藤田朋子さんです。ちよつと駅舎では「情報座談会」を開催していて、県内の様々な地域から地域おこし協力隊の皆さんが来てくれていたので、かなり賑やかに迎えすることができました！

その後は私、村上の家に移動して「香春町産柿渋染体験」をしてもらいました。そしてそれが見事「感動体験」に認定していただき、よかったです！



もろへつこ担当

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員

えませんが、今できることをポジティブに捉えて、活動していきたくです。



▲貰ったタケノコで作った煮物

新年度を迎え、心機一新新しい気持ちで頑張ろうとしていましたが、コロナウイルスの影響で、出鼻を挫かれ、思うように活動できずに4月を迎えてしまっております！泣

しかし、外に出て活発に動くことはできませんが、昨年度の振り返りや今年度の計画、今後行なっていく活動の準備など、机の前で考える作業がスムーズにできており、今しかできないことに集中できるキッカケとなっております！

また、緊急事態宣言により不要不急の外出が禁止となり、家において料理をする機会が増え、この間は旬のタケノコで煮物を作りました。頻繁にタケノコ料理を食べることができずごく幸せです！（関東だと高級食材でなかなか食べられません！）

コロナウイルスの終息は未だ見えませんが、



▲ポリジと八重桜を氷に

4月16日で着任して丁度1年が経過しました。昨年は少し時期を逃し、作れなかった八重桜の塩漬けを仕込みながら、『ああ、丁度一年が経ったのだ』と感じています。

周辺の植物の旬がある程度覚えた2年目は、前もって準備に取りかかることが出来ます。コロナの自粛で思い描いていた保存食作りのワークショップや料理教室は見送りとなっていますが、オンラインでの開催を検討したり保存食の商品化に向けて試作を繰り返したり、新しい方向性を模索する時期となっています。

自然栽培の畑も同じく1年を経過しました。去年とは違う雑草が生えてきて、土が変わったことが顕著に見えるのも面白いです。



半農半X担当

下高野1区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲左上、枝の分岐部分に一時的に群れが密集している様子

4月に入り、二ホンミツバチの分蜂(母の女王バチや姉の女王バチが、働きバチの一群と新たな巣を求めて旅立つこと)が始まっています。そして今回、分蜂の現場に初めて立ち会い二ホンミツバチの面白さに触れました！

巣箱や飼育の様子見学で飼育実践者のお宅を訪問した際、幸運にもちよつと分蜂の現場に遭遇。辺り一面をミツバチが縦横無尽に飛び回っている様子は圧巻で、その数分後には何千匹もの一群が団子状になり柿の木に留まっていました。

最近二ホンミツバチを見る機会が減りました。果樹や野菜の受粉に必要不可欠なミツバチは気候変動や農薬などの複合的な影響で激減しているの、身近に見守ってほしいと思います。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

協力隊
その後

2

香春町で空き家に特化した不動産屋を開業！
協力隊時代に経験したことをなりわいにして

香春町に住み続ける手島順也さん



1



2



3

1 普段は香春町内を飛び回っています。空き家のご相談があればお電話ください。

2 空き家相談会も実施。

3 漆喰ぬりワークショップなどで空き家再生を身近に感じてもらいます。



手島不動産

手島不動産

香春町大字中津原 1361 - 1

TEL/FAX (050) 8880 - 1874

E-mail : juantechinga@gmail.com

ブログ : <https://kawara.site/>

空き家の相談はお気軽にご連絡ください！

2016年4月から香春町地域おこし協力隊となり、大阪府から香春町に移住し、昨年3月に退任しました。香春町へ移住してきた4年間で家族が増え、最初は妻と2人で始まった生活も2人の子どもが産まれて賑やかに、今は家族4人で田舎暮らしを満喫しています。

協力隊の仕事では「香春町空き家バンク」を担当し3年間で85人の人々の定住につながりました。任期中に「空き家相談士」や「宅地建物取引士」の資格を取得し昨年からは不動産屋(屋号:手島不動産)も開業。卒業後も香春町移住コーディネーターとして空き家バンクの運営に携わりつつ、頼られる不動産屋になるべく精進しています。

今年度からは福岡県の空き家活用事業にも関わることになりました。今年10月スタートの「空き家活用サポートセンター」の相談員として、協力隊活動で得た知見を制度立ち上げのために生かしています。

空き家問題は複雑で不動産屋だけでなく、各種専門家と行政、地域住民の連携が欠かせません。空き家を活用することで町に新しい移住者が住むことができる！シンプルですが、これからの方針に従って行動していきたいと思っています。

空き家の相談があれば、香春町役場住宅水道課や採銅所駅舎内第二待合室、そして移住コーディネーターの私まで相談ください。

そしてこれからも香春町の一住民としてよろしく願います。

香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」

移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。

詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。



カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU